

## 2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復師学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	固定法 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	前期	教室名	第2校舎3階実技室
担 当 教 員	澤 卓実	実務経験と その関連資格	専科教員(平成22年～現在に至る)、認定実技審査員(平成29年:整復実技) 講道館柔道初段(平成29年)、附属接骨院(平成19年～平成26年:柔道整復業務に 従事)			
《授業科目における学習内容》						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業開始15～20分間は、前回の復習を行い次の課題を行う。各部位ごとに実技小テストを行い技術習得状況の確認を行う。</li> <li>・実技授業であるが、包帯法の定義、目的、材料などの理解のために講義も行う。</li> </ul>						
《成績評価の方法と基準》						
1. 定期試験:100(90) % 2. 小テスト:0(10) % 3. 授業態度と参加度:0%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
包帯固定学 改訂第2版(南江堂)						
《授業外における学習方法》						
クラスメイトと何度も繰り返し練習する。						
《履修に当たっての留意点》						
卒業年次に行われる認定実技審査に向けて基礎包帯については、問題なく巻くことができるように練習時に数多く包帯を巻いてください。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	実習形式	授業を通じての到達目標	授業の進め方を理解する	包帯固定学 改訂第2版(南江堂) 配布資料	包帯固定学の教科書を一読しておくこと	
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション:自己紹介、授業の進め方について			
第2回	実習形式	授業を通じての到達目標	包帯の定義、目的、種類、を理解する	包帯固定学 改訂第2版(南江堂) 配布資料	前回の復習と今回の予習	
		各コマにおける授業予定	包帯の定義、目的、種類、患者の扱い方※狭義と広義の包帯の理解させる。			
第3回	実習形式	授業を通じての到達目標	巻軸包帯を理解する	包帯固定学 改訂第2版(南江堂) 配布資料	前回の復習と今回の予習	
		各コマにおける授業予定	巻軸包帯とは、巻き方、基本型、通則※巻軸包帯を使用し、包帯の巻き戻し(実技指導)			
第4回	実習形式	授業を通じての到達目標	指の包帯が巻ける(1)	包帯固定学 改訂第2版(南江堂) 配布資料	前回の復習と今回の予習	
		各コマにおける授業予定	指の包帯①:隻指帯、指ほうか帯 ※指頭部出の軸操作に注意			
第5回	実習形式	授業を通じての到達目標	指の包帯が巻ける(2)	包帯固定学 改訂第2版(南江堂) 配布資料	前回の復習と今回の予習	
		各コマにおける授業予定	指の包帯②:全指帯、総指ほうか帯 ※指頭部での軸操作に注意			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標	手の包帯が巻ける(1)	包帯固定学 改訂第2版(南江堂) 配布資料	前回の復習と今回の予習
		各コマにおける授業予定	指の包帯③不全指帯、指頭ほか帯 ※指頭部での軸操作に注意		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標	手の包帯が巻ける(2)	包帯固定学 改訂第2版(南江堂) 配布資料	前回の復習と今回の予習
		各コマにおける授業予定	手の包帯①:上行麦穂帯、下行麦穂帯 ※包帯巻き器の使用開始(取り扱い方法と実技指導)		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	前腕の包帯が巻ける	包帯固定学 改訂第2版(南江堂) 配布資料	前回の復習と今回の予習
		各コマにおける授業予定	前腕の包帯①:螺旋帯、螺旋帯及び折転帯 ※軸操作をしっかりと行うように注意		
第9回	実習形式	授業を通じての到達目標	肘関節の包帯が巻ける	包帯固定学 改訂第2版(南江堂) 配布資料	前回の復習と今回の予習
		各コマにおける授業予定	肘関節部の包帯①:離開亀甲帯、集合亀甲帯 ※離開と集合の相違点を理解させる。扇状に展開する方向に注意		
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標	肩関節の包帯が巻ける(1)	包帯固定学 改訂第2版(南江堂) 配布資料	前回の復習と今回の予習
		各コマにおける授業予定	肩関節と腋窩の包帯①:上行麦穂帯※最初の環行帯の位置に注意させる。三角筋腱移行部に環行		
第11回	実習形式	授業を通じての到達目標	肩関節の包帯が巻ける(2)	包帯固定学 改訂第2版(南江堂) 配布資料	前回の復習と今回の予習
		各コマにおける授業予定	肩関節と腋窩の包帯②:下行麦穂帯 ※最初の環行帯の位置に注意させる。胸部に環行		
第12回	実習形式	授業を通じての到達目標	さらして体幹の包帯が巻ける	包帯固定学 改訂第2版(南江堂) 配布資料	前回の復習と今回の予習
		各コマにおける授業予定	さらし固定包帯①:腰腹部の固定。※折転なし及び折転有りの場合。巻軸包帯を襷に掛け、さらし固定がずれないようにさせる。		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	講義項目を復習し練習する(1)	包帯固定学 改訂第2版(南江堂) 配布資料	前回の復習と今回の予習
		各コマにおける授業予定	総まとめ①:前期基礎包帯復習		
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標	講義項目を復習し練習する(2)	包帯固定学 改訂第2版(南江堂) 配布資料	前回の復習と今回の予習
		各コマにおける授業予定	総まとめ②:前期基礎包帯復習		
第15回	実習形式	授業を通じての到達目標	講義項目の理解度を確認する	包帯固定学 改訂第2版(南江堂) 配布資料	前回の復習と今回の予習
		各コマにおける授業予定	総まとめ&前期講義の理解度を確認する		